



写真：赤岳（大雪山）  
（上川町）

# もり 北の森林 国有林

## 今月のトピック

- 地域住民と協働の海岸防災林造成  
「えりも国有林」



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局



# 地域住民と協働の海岸防災林造成

治山課

日高南部森林管理署



「えりも国有林」は、えりも岬の東側沿岸に細長く延びる海岸林で、面積約421haを有し、日高山脈襟裳国定公園、飛砂防備保安林、保健保安林、魚つき保安林に指定されています。かつて荒廃した、えりも岬を、長い歳月をかけて再生・復興した、今日までの取組みを紹介します。

## 森林再生のはじまり

今から約三百年前、えりも岬では、アイヌの人々が



昭和20年代のえりも岬

海藻類や魚介の採取により暮らしていたと伝えられています。

当時の「えりも岬」は、カシワやミズナラ、ハルニシ等を主体とする広葉樹の森林で覆われ、厳しい気象条件下でも、この森林が人々の生活を守っていました。

しかし、明治時代に開拓民が移住し、燃料としての伐採や牛馬と綿羊の放牧地の開拓が進んだこと、さらには、バッタの大量発生による被害が発生し、えりも岬の大地は、えりも岬特有の強風や冬の土壌凍結にさらされ、雑草さえ生えない荒野となりました。表土が露わになった大地からは、赤土が舞い上がり『えりも砂漠』の様相を呈しました。

この赤土は飛砂となって沖合10kmまで達し、沿岸の海は濁り、魚は寄りつかず、昆布などの海藻類も採れなくなりました。漁業で生計を立てていた、えりもの

人々は生計を失い暮らしも困難になり、森林の再生を望みました。



えりも砂漠の様相（昭和20年代）

## 緑化事業のあゆみ

森林再生を求める声に応え札幌営林局（当時）は、昭和28年に『えりも治山事業所』を開設し、地元住民との協働による本格的なえりも岬緑化事業の第一歩が踏み出されました。

緑化事業は、荒廃した192haの荒野に、まずは、草を根付かせることから始めました。草を根付かせるためには、雨による土砂の流出を止め、風による種や肥料、砂の飛散を防止する必要があります。丸太谷

止や柵による土砂の流出防止のほか、よしずによる被覆などの飛散防止策を実施しましたが、強風により破壊されてしまい、緑化は難航しました。それでも、さまざまな試行錯誤の末、昭和32年頃に、海岸に打ち上げられた雑海藻（ゴタ）で種子と肥料を覆い、飛散を防ぐ『えりも式緑化工法』と呼ばれる画期的な方法が開発されたことにより、緑化が一気に進みました。これにより、昭和45年には草による緑化が完了し、樹木による緑化が本格化しました。

樹木による緑化は、植栽樹種や植栽方法などの試行

雑海藻（ゴタ）を播く



の結果、クロマツを主体に広葉樹のカシワ、アキグミ、イタチハギ等を植栽し、厳しい気象条件の緩和を図る防風垣、防風土塁等により植栽木を保護する方法が採られました。



植栽したクロマツ

これによる海岸林の再生は、今日まで継続的に実施されており、その結果、現在では立派な森林が蘇り、「日本の白砂丘青松100選」にも選定されています。この海岸林は、今はまだ若いクロマツの一斉林が多く、この先五十年、百年を見ずえた森林づくりが求められています。えりも岬の海岸林が目指すものは、かつての森林です。現在のク



現在のえりも岬海岸林

ロマツ一斉林を抜き伐りによりギャップを設け、広葉樹が生育できる環境をつくり、かつてのえりも岬の森林にあったカシワやハルニシ等による針広混交林化により、様々な状況に耐える強靱な海岸林へと育てていく必要があります。



目指す針広混交林

### 官民一体となった絆

昭和28年の緑化事業開始以来、地域では節目ごとに運動会や記念行事などを開催し、協働で築きあげてきた成果を振り返り、この森林の将来のあるべき姿について、語り合ってきました。また、緑の恵みに感謝する心と慈しみ育てる心を啓発し、緑豊かな大地「えりも岬」をつくりあげることが目的として、えりも町や漁業協同組合、森林組合、日高南部森林管理署などが昭和58年に「えりも岬を守る会」を設立し、ワクワク森林づくり(植樹祭やイキイキ森林づくり(育樹祭)などの森林再生活動を官民一体で進めています。

平成18年からは、中高一貫教育の取り組みとして、中学1年生が植樹体験を、高校2年生が枝打ち体験を行い、次世代に緑化事業の大切さを伝えてきました。これらの活動の功績が認められ「吉川英治文化賞」「インフラメンテナンス大賞 優秀賞」など数々の賞を受賞しています。



2022 中高一貫教育 (植樹体験)

令和5年には、えりも岬緑化事業70周年記念行事「2023 リン子とルン海の森づくり(植樹祭)」を予定しており、70年かけて蘇らせた緑化に捧げた情熱や成功にいたるまでの苦労などの歴史を風化させることなく、次世代の子供たちに伝え、これからのえりも岬の森林のあり方を共に考え、絆をより一層深めていきたいと考えております。



『お山ん画』でお馴染みの林リン子のエンブレムと70周年記念行事PRポスター

# 美しい森お薦め国有林

## 上川浮島風景林

上川中部森林管理署



上空から見た上川浮島風景林

### 【概要】

上川浮島風景林は、北海道北部の国道273号線沿いで、道北地方と道東地方の接点にある「浮島湿原」とその周辺部からなる風景林です。「浮島湿原」は標高870mの溶岩台地に発達した山地高層湿原で、北東から南西方向に約700m、北西から南東方向に約500mの「ハ」の字形に広がっています。面積は約22ha、周囲は約3kmあり、大小70あまりの沼が点在しています。沼の深さは「東ノ沼」の約2.5mがもっとも深いとされています。

### 【湿原の形成】

湿原の形成は、約2,000〜2,500年前で、0斜面が緩やかで標高が高いことが影響し、植物が秋に枯れ落ちてもほとんど腐ることなく枯れ残って厚い泥炭の層になり、その上を水が流れ下るときに運ばれた種子が緩やかなところに滞り成長することを繰り返して、川の水がせき止められたるまでになり、沼ができたものです。そのような生い立ちから近くにある沼でも水面の高さがそれぞれ違うという不思議な現象が現れています。



沼に浮かぶ「浮島」

### 【名称の由来】

湿原にある沼の中には、日本でも数少ない風に吹かれて移動する貴重な「浮島」が数多くあります。それが名称の由来となっています。

### 【楽しみ方】



好天時の水鏡

浮島には大人3〜4人が乗っても沈まないものもあり、その成り立ちも張り出した土手がちぎれたもの、湖底の泥炭層が浮き上がったもの、中島だっただけの根元が次第に細くなり、悲しげな姿の浮島を作ったという伝説もあるようです。

### 【アクセス】

生育し、6月上旬から8月下旬まで季節ごとに咲く花々を探勝できます。湿原の周辺部はアカエゾマツを主とする亜寒帯林で開けた場所が多く、野鳥などの動植物の観察も容易であり、豊かな自然が織りなす特異な景観が楽しめます。また、水鳥の生息には十分な広さではありませんが、広大な雪山系には、野鳥が数多く生息しています。貴重な自然、その原始性を保つため、くれぐれも木道からは逸脱せずにお楽しみいただきますようお願いいたします。

### ●散策

湿原内には全長1,600mの木道が張り巡らされており、傾斜もないことから比較的歩きやすく、ゆっくり歩いても1時間程度で散策できます。

### ●動植物

湿原部にはエゾヒツジグサなどの水生植物、モウゲサングルマなどの高山植物が

### ●車の場合

旭川駅前→道央自動車道旭川鷹栖IC→比布JCT→旭川紋別自動車道浮島IC→国道273号→上川町道（未舗装路）（上川町道は冬季節通行止・例年6月上旬から9月下旬まで通行可）→上川浮島風景林駐車場（30台 無料）（75km 80分）

### ●公共交通機関の場合

新千歳空港駅→札幌駅（JR千歳線 45分）→旭川駅（JR函館本線 90分）→上川駅（JR石北本線 65分）

●駐車場から歩道1,600m（約30分）で湿原内木道へ

# 【十勝東部森林管理署】 木造建築・我が署紹介！



庁舎

するほか、国有林はありませんが、池田町と浦幌町も管轄区域としています。

庁舎は、平成10年2月に竣工し、今年で24年となりました。設計コンセプトは、「人と環境にやさしい木造建築」で、一般の方々に木材の持つ美しさや柔らかさを知っていただくことで、木材を使ってみたいと考え、設計とさせていただくよう工夫した設計となっています。また、町内の街並みの景観にも配慮した木造平屋建ての庁舎です。

構造には、トドマツ、エゾマツ、カラマツ集成材を使用しており、また、庁舎外壁四方の中間の一部にはトドマツ、エゾマツの羽目板を使用し、木造建築を十分に思わせる外観となっています。内部は、事務室の中央部に高さ8mの吹き抜けの天窗を設け、自然光が

トドマツ、エゾマツ、カラマツは足寄町産で、ミス



庁舎事務室内



天窗

入るように、木材を放射状にするラーメン構造を採用した組み方をとっています。室内全体に明るい自然光が入り開放感のある事務室が特徴となっています。

庁舎各室の腰壁にはヤチダモ天然木の板を使用し、床は、全てミズナラのフローリングで統一され、木材の持つ美しさや柔らかさ、温かみ感のある造りとなっています。

ナラ、ヤチダモなどの広葉樹は道産木材を使用しており、使用量は、構造材のトドマツ、エゾマツで約82㎡、内装材は、ナラ等で約429㎡となっています。

庁舎は、来訪される方や、庁舎周辺を散歩される地域住民の方から、木材をふんだんに使った建物として見られており、森林を管理している事務所として地域の皆様から愛着をもって親しまれています。

また、当署庁舎にほぼ隣接する足寄町役場も、地元足寄町産のカラマツをふんだんに使用した役場庁舎です。また、足寄町では公共施設を町産カラマツ材で建設し、森林資源を活用した町おこしを進めています。

さらに、カラマツ林地残材を原料とした木質ペレットの利用にも取り組まれており、町内でペレットを製造し、そのペレットを燃料としたボイラーを町役場等に導入し、暖房に用いています。そして、「ペレットをみんなで使って町を元気に」をスローガンとする足寄町木質ペレット燃焼機器導入補助金の制度を創設

し、各家庭でのペレット使用にも取り組んでいます。足寄町では、これらの町産木材の利用推進の取り組みにより、化石燃料の消費を減らしつつ、町の経済と産業を発展させ、また、森づくりを推進することとしています。



足寄町役場

最後に、十勝東部地域は農業・林業を中心とした産業構造となっており、一部は中山間地域もあることから、国有林との関わりも密接な関係となっています。

今後、地域の林産業発展のため、積極的な情報発信を行い、各自治体と良好な関係を維持する中から、地域振興に寄与できるよう取り組んでいきます。

# こんにちは 森林官です!

檜山森林管理署  
知内森林事務所  
首席森林官 鈴木良治



知内森林事務所首席森林官



## 【森林事務所と所在地の紹介】

知内森林事務所は木古内森林事務所との合同森林事務所で、木古内町に所在しています。知内森林事務所の管轄している国有林は知内町と福島町にまたがり約15,000haあります。合同森林事務所では、私と地域統括森林官（木古内森林事務所）、2名の非常勤職員と合わせて4名で各種業務をおこなっています。



木古内・知内合同森林事務所

事務所がある木古内町は渡島半島南西部に位置し、南は津軽海峡に面し、北は山岳地帯で市街地の平野部を除いてほとんどは山岳・丘陵地帯です。人口は約3,700人で、主たる基幹産

業は漁業と酪農です。

2016年に開業した北海道新幹線は、2030年度には札幌までの延伸予定ですが、北の玄関口であるJR木古内駅は、道の駅「みそぎの郷 きこない」と相まって多くの観光客で賑わっております。

知内森林事務所が管轄する国有林の半分以上が所在する知内町は木古内町の隣りに位置し、東部は津軽海峡に面し、西部と南部は山岳地帯、中心を流れる知内川下流に市街地があります。人口約4,000人で、町の特産物は津軽海峡の荒波にもまれて育った力キと道内一の生産量を誇るニラで、いずれも味は最高です。歌手、北島三郎の出身地でもあります。

## 【森林官の業務】

春は、融雪後に担当部内を巡視して林道や造林地などに被害箇所があれば対処します。夏から降雪前が業務の最盛期で各種調査や各事業の監督、林道などの維持管理、国有林の境界巡視などを行っています。

これらの業務を通じて、「成長した人工林等の間伐や主伐を行って木材として使っていたいただき、伐採跡地に木を植えて育てる」を繰り返す循環可能な森林づくりを行っています。

## 【大千軒岳】

大千軒岳は日本三百名山のひとつで、渡島半島の南西部、松前町と上ノ国町の間に標高1,072mの山です。福島町大千軒から町道、林道を通って奥二股登山口に到着します（大千軒コース）。道外からも登山者が訪れ、春の雪解け時期には多くの問合せがあります。大千軒コースは登りで約4時間、下りで約3時間のコースです。ここは江戸時代に松前藩が106名の隠れキリシタンを処刑した歴史の場所でもあり、難攻不落でタフなコースは中上級者向け登山道として、また自然と触れ合えるフィールドとして親しまれております。登山口までの国有林林道は融雪後に崩土除去等を行い、降雪時期まで林道ゲートを開放しています。

## 【おわりに】

知内森林事務所に着任して一年目ですが、部内の状況を少しずつ把握し、他の森林官や管理署の方々と連携をしながら業務を進めてきました。今後ともこれまでと同様に業務を進めて行きたいと思っております。



登山口途中にある看板



大千軒コースの奥二股登山口

# 各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索



## 大地連携ワークショップ夏 in びらとり研修会が開催されました



### 【日高北部森林管理署】

アイヌ政策推進交付金事業の一環で、平取町アイヌ文化振興公社は、令和4年8月22日から26日まで、全国の大学・大学院から学生23名を招き、平取町にてアイヌ文化を学ぶワークショップを開催しました。この中で、アベツ国有林をフィールドとしてアイヌ文化ガイドの研修が行われました。

アベツ国有林では、森林管理署と役場、アイヌ協会が協力してオヒョウなどの広葉樹をエゾシカの食害から守るため防鹿柵で囲い育てる取り組みを行っています。

学生達は、本物の民族衣装をまとった公社職員たちが執り行う「カムイノミ」（祈り・安全祈願）に参加したり、有用植物の説明を受けたりしました。また、弓矢を使った伝統的な狩猟体験では、威力を大幅に軽減した弓矢で的を狙い、弓道経験者もいたようで、的にヒットするたび歓声が上がっていました。

## 「森林の市」3年ぶりに開催される



### 【上川中部森林管理署】

令和4年7月30日（土曜日）、旭川林業会館構内において、旭川地方木材協会主催による「森林の市」が3年ぶりに開催されました。

当署も共催団体になっており、職員6名が参加しました。当日は、天候に恵まれ、最高気温32℃を記録する中、多くの市民が催し等を楽しみ、いろいろなブースで木にふれ合っていました。

当署が担当した「親子とんかち広場（木工品製作）」には予定の40組を超える申し込みがあり、「設計図を持ち込み作成する常連」や「何を作ってもよいか悩む親子」「子供以上に真剣な親御さん」などが汗をかきながら一生懸命製作していました。旭川市のブースではバイオマスのアンケート調査や「手すきはがき作成体験」、「木製コースターづくり」、「林業コスプレ体験」、「樹木苗・しいたけ原木販売」、「高性能の林業機械のデモンストラーション」などが行われるとともに局職員が作成した「旭川絵巻」、「北の森漫画」のパネル展示も行われていました。

## 後志森林管理署 施工現場見学会（治山事業）の開催



### 【後志森林管理署】

令和4年8月23日（火曜日）、後志森林管理署神恵内地区で実行中の珊内地区（1017林班）治山工事現場において、治山・林道技術者の技能向上と若手職員の人材育成を目的に施工現場見学会を開催しました。

当工事では道局管内の治山工事では実績の少ない遠隔臨場システムを試行しており、今回、受注者である株式会社 松本組で使用している遠隔臨場システムのリース元、北海産業のご協力により、局、近隣署および当署の職員合わせて44名がグループに分かれてシステムを体験しました。「思ったよりも簡単」、「条件が合えば使ってみたい」との意見もあがり、システムの理解が深まりました。

その後、工事現場へ移動し、落石防護柵工の施工の様子を見学しました。

## 「わくわく夏休み子ども体験デー」を開催しました



### 【北海道森林管理局】

令和4年8月5日（金曜日）に、北海道農政事務所、北海道開発局、北海道森林管理局が主催、植物防疫所、動物検疫所が共催して「わくわく夏休み子ども体験デー」を開催し、各機関がそれぞれの特色を生かした体験ブースを出展しました。このイベントは、北海道の基幹産業である農林水産業に関する体験を通して、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、農林水産関係の施策に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

北海道森林管理局は「木のコースターづくり」、「木の卵ストラップづくり」、「もくねんさん（おがくす粘土細工）」、「えこはしくんづくり」のブースを設け、「北の森カルタ&リーフアート」の展示も行いました。3年ぶりの開催でしたが、開始から終了まで時間いっぱい遊んで、体験してもらい大盛況でした。

来庁される皆様へ  
(改修工事のお知らせ)

北海道森林管理局では左記の期間、庁舎の屋根及び外壁の改修工事を実施します。

工事期間中は、駐車場の一部が使用できなくなることから来庁される際は、公共交通機関をご利用ください。

### 工事期間(予定)

令和4年8月27日(土曜日)  
～令和4年11月26日(土曜日)

### 登山等に関する 通行規制等について

登山道に通じる主な林道についての状況は、大雨等で変更があった場合は、随時更新していきますので、登山に行く前にご確認ください。



エゾシカ森林被害マップ(令和3年度版)を公開しました

国有林・民有林・試験研究機関のエゾシカ担当部署で構成する「エゾシカ森林被害対策連絡会」の取組の一つとして、国有林と民有林それぞれの森林被害(人工林)の状況を一元化し見える化した、令和3年度(令和4年度作成)「エゾシカ森林被害マップ」を作成しました。

### ○被害マップの内容

エゾシカ森林被害マップ(以下、被害マップ)は、国有林、民有林(道有林含む)で、令和3年度に実施したエゾシカによる森林被害調査結果のうち、人工林の本数被害率について図示したものです。

被害マップは、被害の発生状況が一目でわかるよう3段階に色分けして表示しており、各地域における防除対策やエゾシカの捕獲対策のためのツールとして活用できます。

詳しくは各HPをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/hozen/sika/sika.html>

令和4年度 銃猟入林について  
(9月1日から受付を開始しています。)

### ア、銃猟入林の規制について

銃猟立入禁止区域と猟区、それ以外の区域を色分けし、銃猟立入禁止区域は、昨年同様、平日・土日祝・年末年始のいずれも銃猟を禁止します。

### イ、全道一括銃猟

#### 入林手続きについて

全道一括銃猟入林合同説明会については、今年度も開催しないこととします。

全道一括銃猟入林手続きによる銃猟入林証等の発行は、狩猟者登録番号の確認後とします。受付期限はありません。

### ウ、森林管理(支)署による

#### 入林届を提出

全道一括の入林手続きを行わない方、わな猟の場合は、各森林管理(支)署への入林届の提出が必要です。

### エ、道有林への入林について

北海道 水産林務部 森林環境局 道有林課または(総合)振興局森林室への入林手続きが必要です。

詳しくは各HPをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/nyurin/181204.html>

広報 「北の森林 国有林」9月号  
発行 林野庁北海道森林管理局  
編集 総務企画部 企画課

〒064-8537 札幌市中央区宮の森  
3条7丁目70

I P 電話 050-3160-6300

電 話 011-622-5213

F A X 011-622-5194

<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

## 今月の木 「アカエゾマツ」

長さ5～8cmの円柱形で下に垂れ、  
9月に成熟します。  
まつぼっくりはエゾマツより細いです。

アカエゾマツのまつぼっくり  
のイラストを表紙の月数字に載せました。

今月の表紙